木樹脂®フェンス 組立施工説明書

施工説明書番号 ME-1338

改-10

この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為この施工説明書をお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

施工上のご注意

当社のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

(1) モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので､その使用を避けていただくか､十分水洗いしたものを使用してください。
(2) モルタルやコンクリートの**抽出液**は強アルカリ性で､しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品の表面に流れないように注意してください。
(3) モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
(4) 施工時に商品の表面に**付着したモルタルやコンクリート等**は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
(5) アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
(6) 腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は､アルミ製品と接触しないようにしていただくか､接触する部分を完全に養生してください。
(7) 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
(8) 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。
(9) 基礎施工の際は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
(10) 地盤が軟弱な場合は､柱の埋め込み深さ､フーチングの大きさを考慮してください。

＊汚れ､ホコリが付着した場合には､軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

この施工説明書に示した注意事項は､安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため､次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。	❗	「必ず行なっていただくこと」を示しています。

⚠注意

- フェンス本体に乗ったり､揺すったりしないでください。
- フェンスをみだりに改造、変更しないでください。
- 本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- フェンスに電線等を直接載せないでください。

❗使用上のご注意について

- フェンスに鉢等をかける場合は、1個5kg以下にしてください。また、フェンス1枚当り15kgを超えないようにしてください。
- 樹脂は弱酸､弱アルカリ､食塩水､アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸､濃アルカリ､又シンナー､ベンジン等の有機溶剤や石油類は､使用しないでください。
- フェンスの近くで殺虫剤､除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系､フロン系の場合､接触すると変形､割れを生じることがあります。
- 微小火源では着火しにくくなっていますが､火気には十分にご注意ください。 又､70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近付けたりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

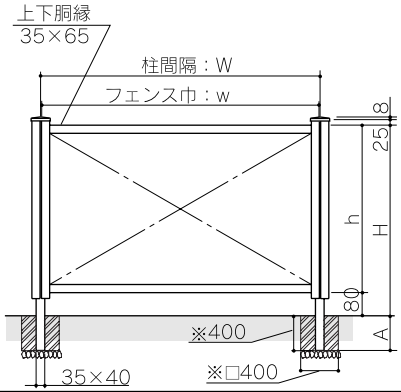
年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。
ただし､工業地帯や海岸の近くなどでは､状況によりお手入れ の回数を増やしてください。

汚れが軽い場合:やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
汚れが目立つ場合: 中性洗剤を薄めた液で汚れを落し洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

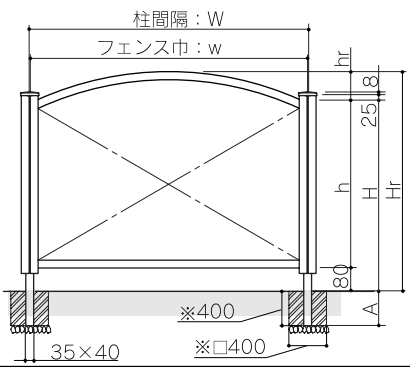
「木樹脂」は新日軽の登録商標です。

姿　図

〈1型～8型〉



1･5型Rタイプ



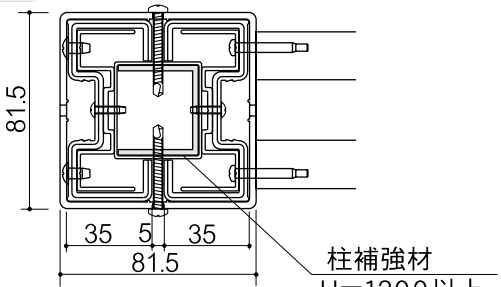
1～8型・1･5型Rタイプ共通					1･5型Rタイプ専用	
H	h	W	w	A	hr	Hr
600	520	1200	1195	150	120	720
800	720	1200	1195	150	120	920
1000	920	1200	1195	150	120	1120
1200	1120	1200	1195	190	120	1320
1400	1320	1200	1195	190	120	1520
1800	1720	800	795	250	68	1868

※H=1400は5型､6型､5型Rタイプのみ
※H=1800は1型､5型､6型､1型Rタイプ､5型Rタイプのみ
※H＝1800のみ必ず独立基礎とする。
※ミディアムブラウン色は1型､3型､5型､6型､8型 1型Rタイプ､5型Rタイプのみ

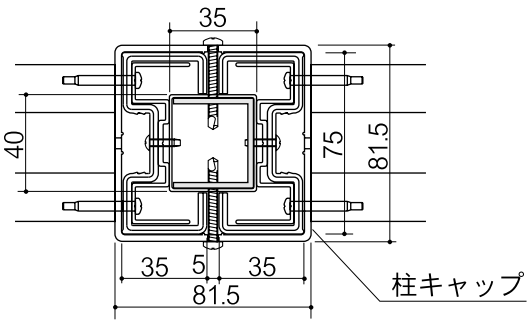
納まり図

〈1型～8型〉

※コーナー部の納まりは､コーナー柱組立施工説明書(ME-1417)を参照してください。

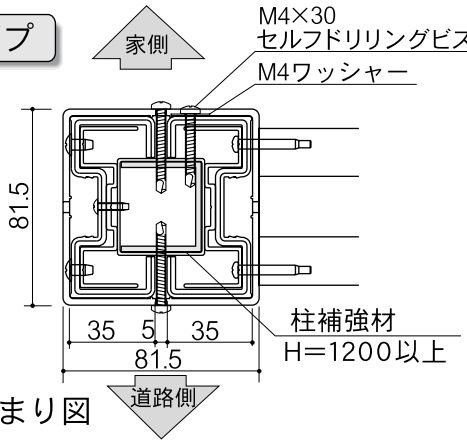


端柱部納まり図

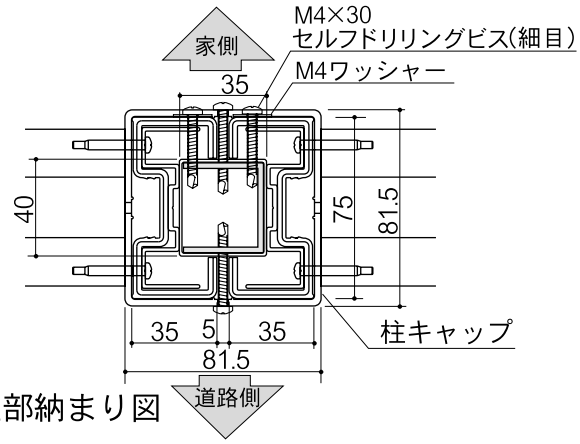


間柱部納まり図

1･5型Rタイプ



端柱部納まり図



間柱部納まり図

梱包明細

名　　称	内　　容
パネル本体	本体(1)、柱キャップ(1)、取付ビス※1
間　柱	間柱(1)
柱端部材	柱端部材(2)、柱キャップ(1)、取付ビス※2、施工説明書(1)

※1:取付ビス

〈1～8型〉
(SB-1520-1) M4×35セルフドリリングビス並目(2)
M4×16トラスビス(2)
M4ワッシャー(2)

〈1･5型Rタイプ〉
(SB-1520-2) M4×35セルフドリリングビス並目(2)
M4×30セルフドリリングビス細目(2)
M4ワッシャー(2)

※2:取付ビス

(SB-1520-1) M4×35セルフドリリングビス並目(2)
M4×16トラスビス(2)
M4ワッシャー(2)

(SB-1587)
＊M4×30 2種ナベビス(8)
M4×19セルフドリリングビス(H600～1400:2,H1800:4)
M4ワッシャー(H600～1400:2,H1800:4)
＊フェンスを2枚に切断して施工する場合にのみ使用します。(1･5型Rタイプは､切詰めできません。)

(SB-3557) 3,8型のみとなります。
＊Φ4×25ナベ2種　H600～1000:36
H1200～1400:52 、H1800:68

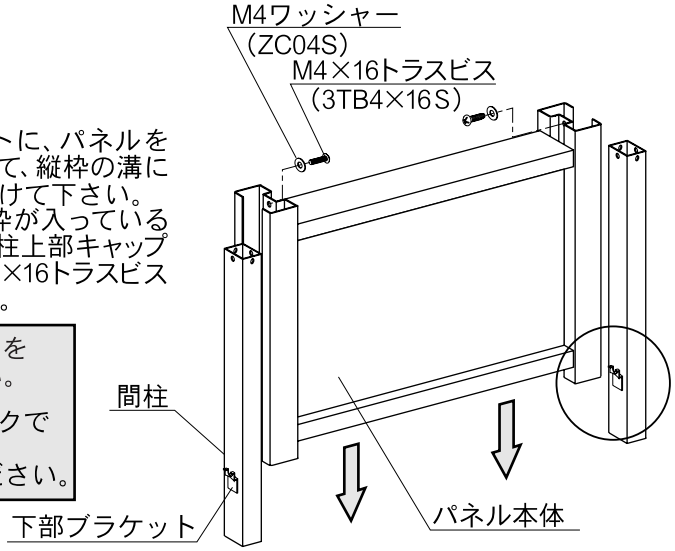
取付方法

① パネルの取付

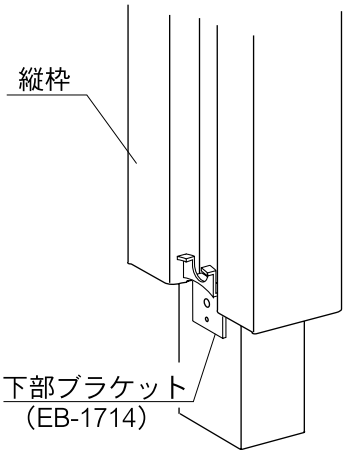
〈1型～8型〉

間柱の下部ブラケットに､パネルを上からスライドさせて､縦枠の溝に差し込むように取付けて下さい。
下部ブラケットに縦枠が入っていることを確認してから､柱上部キャップに同梱されているM4×16トラスビスで固定してください。

- インパクトドライバーを使用しないでください。
- ビスは8～10kgfのトルクで締め付けてください。締めすぎにご注意ください。



下部ブラケット部納まり図



取付方法

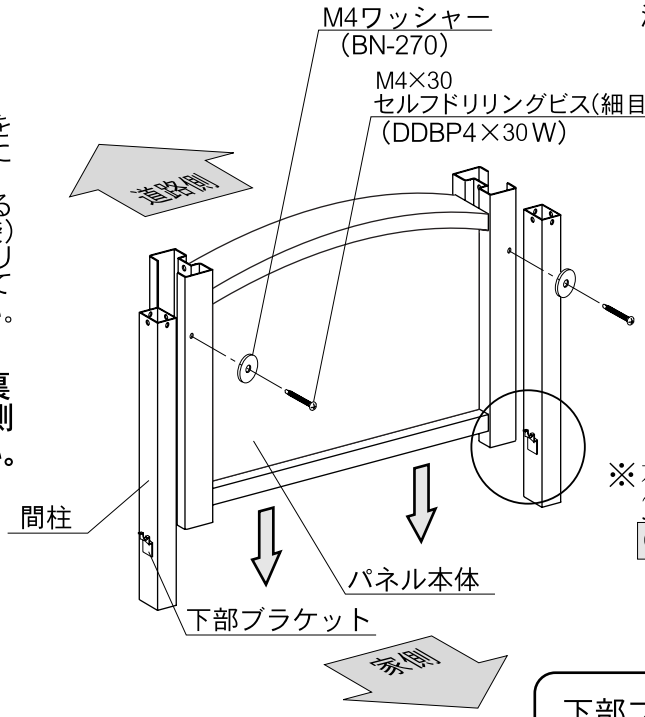
① パネルの取付

1･5型Rタイプ

間柱の下部ブラケットに、パネルを上からスライドさせて、縦枠の溝に差し込むように取付けて下さい。
下部ブラケットに縦枠が入っていることを確認してから、SB-1520-2(小袋)内に入っているM4×30セルフドリリングビス(細目)でパネル縦枠に明いている孔に合わせて固定してください。

縦枠に孔加工してある方が裏面になります。裏面が必ず家側にくるように取付けてください。

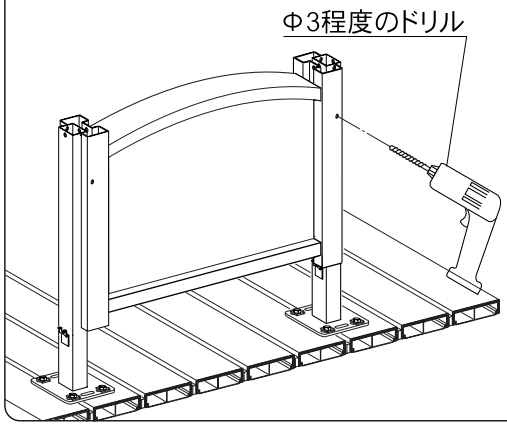
- インパクトドライバーを使用しないでください。
- ビスは8～10kgfのトルクで締め付けてください。締めすぎにご注意ください。



注）木樹脂フェンス用の吊元柱にフェンスRタイプを取付ける際は、必ず左下図のように柱へ下穴をあけるようにしてください。

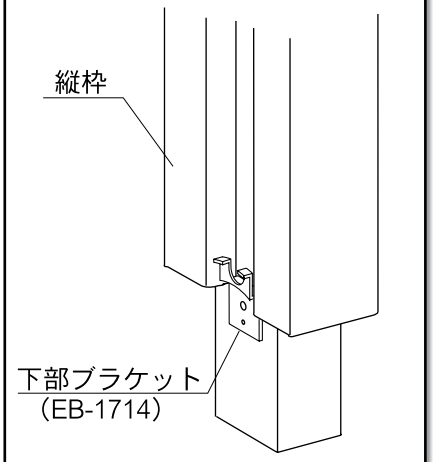
※本体の取付けは、M4×30セルフドリリングビス(細目)をご使用ください。

デッキフェンスH:800サイズの場合



H:800サイズをデッキフェンスとしてご使用の場合は、ビス止めを行う際、本体縦枠に明いている孔に合わせて柱にΦ3.2程度の下孔を明けてから、上記のようにビス止めを行ってください。

下部ブラケット部納まり図



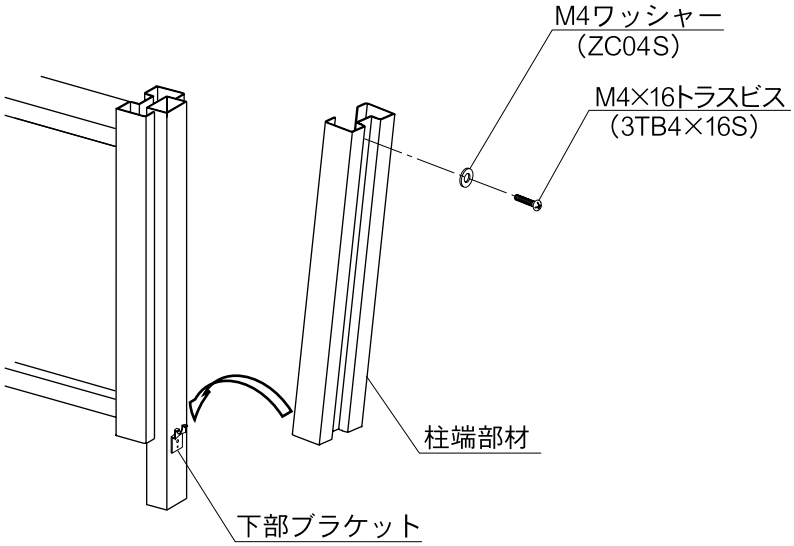
② 柱端部材の取付

〈1型～8型及び1･5型Rタイプ〉

(1) 柱上部の固定

柱端部材を間柱の下部ブラケットに差し込むように取付けます。
下部ブラケットに縦枠が入っていることを確認してから、柱上部キャップに同梱されているM4×16トラスビスで固定してください。

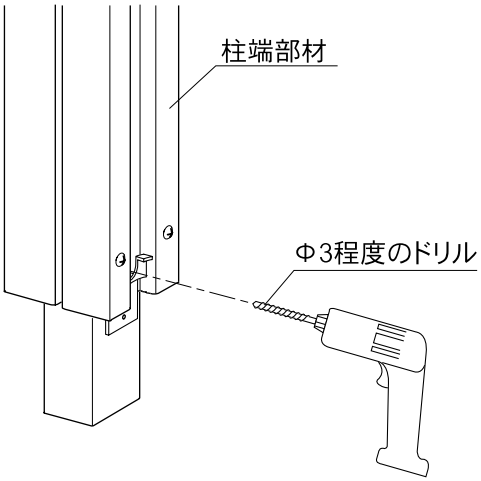
- インパクトドライバーを使用しないでください。
- ビスは8～10kgfのトルクで締め付けてください。締めすぎにご注意ください。

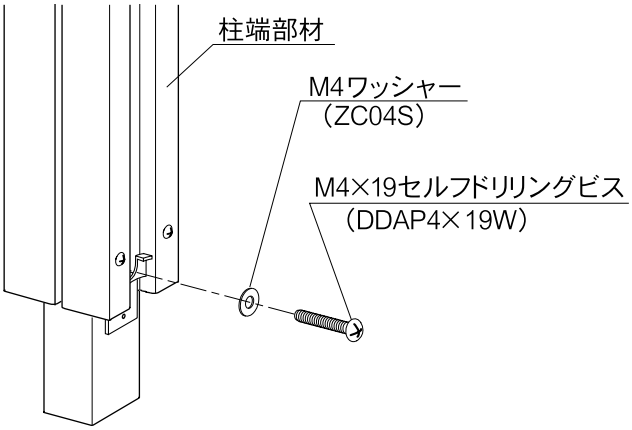


取付方法

(2) 柱下部の固定

SB-1587(小袋)内に入っているM4×19セルフドリリングビスを使って、柱下部を固定します。
ビス止めを行う際、柱端部材に明いている長孔に合わせて柱にΦ3程度の下孔を明けてからビス止めを行ってください。

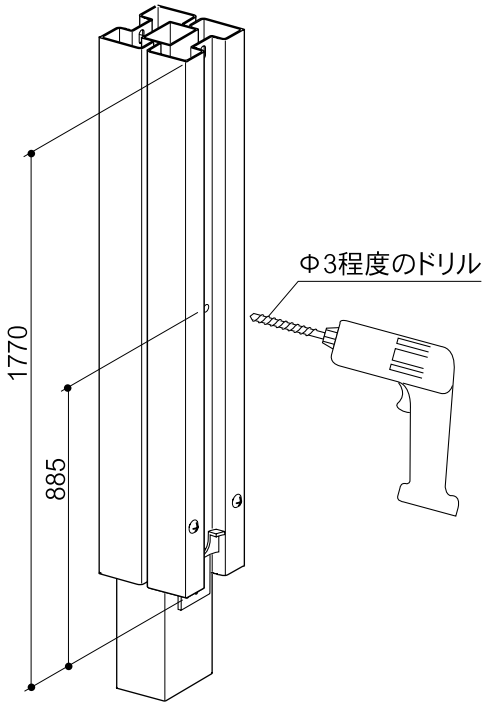


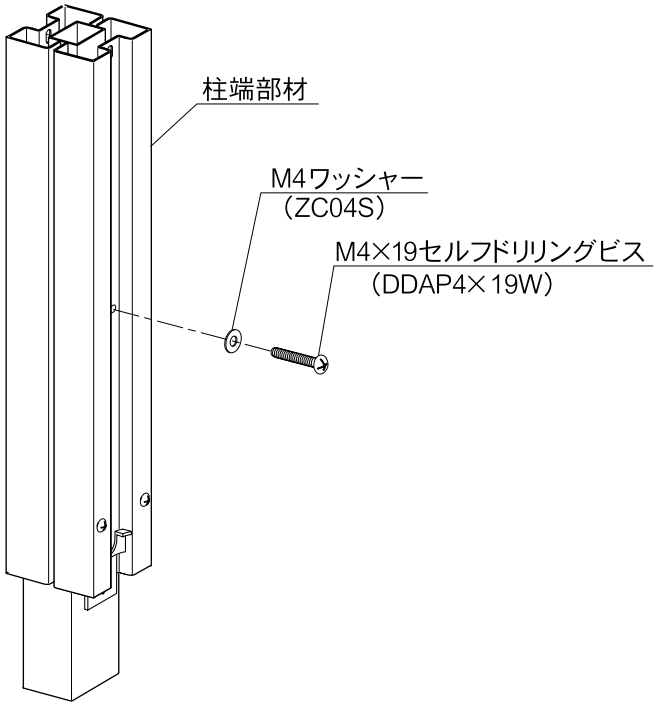


(3) 柱中央部の固定

H:1800の場合のみ

H:1800の場合は、さらに中央部も固定します。
ビス止めを行う際、下図のように柱端部材と柱にφ3程度の下孔を明けてからビス止めを行ってください。

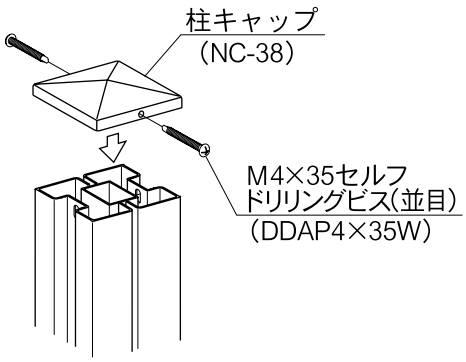




③キャップの取付け

〈1型～8型及び1･5型Rタイプ〉

柱キャップ内に同梱されているM4×35セルフドリリングビス(並目)を使って柱上部とキャップを固定してください。



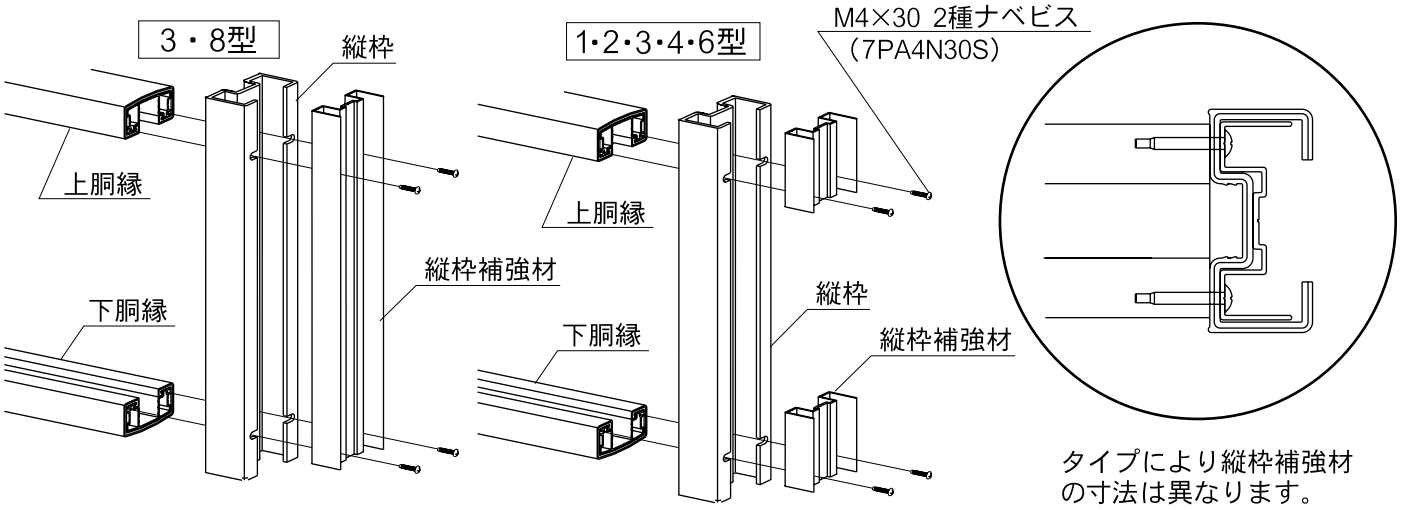
フェンス本体巾を切りつめる場合

※1･5型Rタイプは、切り詰めできません。

- 1枚のフェンスを2枚に切断して2枚共使用する場合は4ページを参照下さい。

注意：アルミ部分の切りつめは、サッシャーをご使用下さい。又、樹脂部分の切りつめ時は、連続切断等により熱を持たせない様ご注意ください。

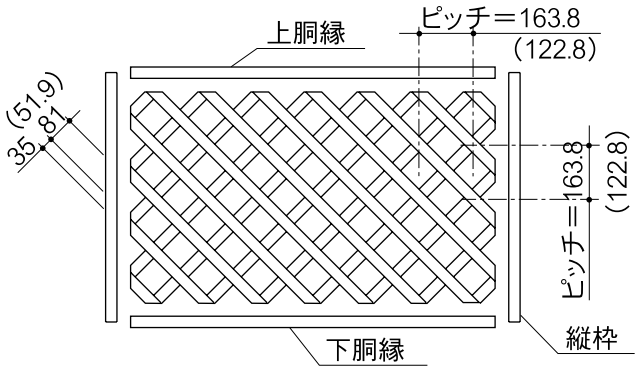
1 パネルの分解



タイプにより縦枠補強材の寸法は異なります。

2 パネルの切りつめ（ ）内寸法は5型

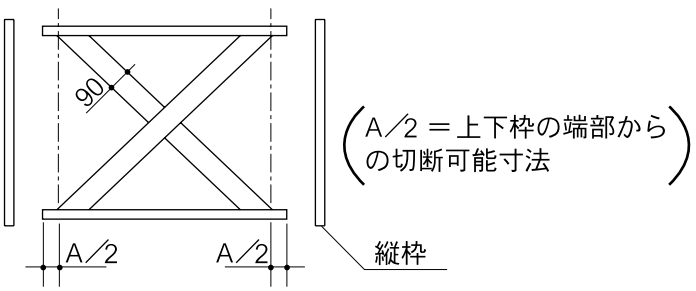
1型（ラチスタイプ）
5型（密ラチスタイプ）



パネルの分解を参照し、上下胴縁を縦枠からはずして下さい。（ラチスパネルはビス止めされていません。）
上下胴縁とパネルを切断して下さい。
（上下胴縁とパネルの切り詰め巾は、同寸法になります。）

（高さ方向の切りつめが可能です。〈コーナー部はできません。〉詳細につきましては、当社営業窓口へお問い合わせください。）

2型（クロスタイプ）



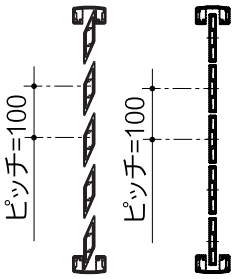
パネルの分解を参照し、縦枠を外した後上下枠を切りつめて下さい。

各サイズによりパネル1枚につき
長さAまでの切詰めが可能です。

本体高さ	切詰め可能寸法 A	A／2
H＝ 600	60	30
H＝ 800	110	55
H＝1000	132	66
H＝1200	148	74

（高さ方向の切りつめはできません。）

3型（ルーバータイプ）
8型（横スリットタイプ）

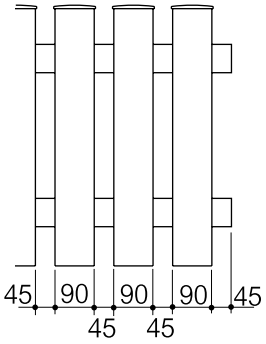


パネルの分解を参照し上下胴縁ルーバー・横スリット材を縦枠からはずしてください。
上下胴縁・ルーバー・横スリット材は、それぞれ切りつめる巾と同寸を切断して下さい。
（高さ方向の切りつめが可能です。〈コーナー部はできません。〉詳細につきましては、当社営業窓口へお問い合わせください。）

4型（縦格子タイプ）

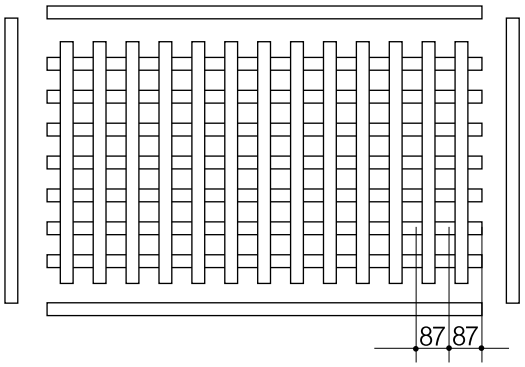
パネルの分解を参照し、縦枠を外して上下胴縁を切りつめて下さい。
135㎜ピッチでの切詰めが可能です。

（高さ方向の切りつめはできません。）

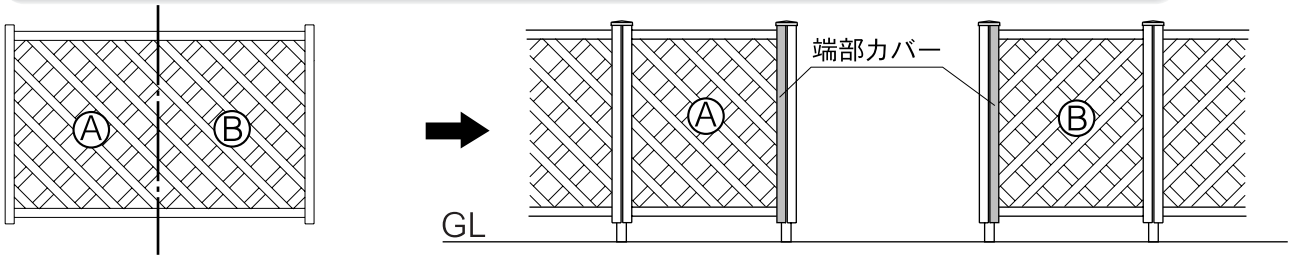


6型（密井桁タイプ）

パネルの分解を参照し、上下胴縁を縦枠からはずして下さい。（ 井桁パネルはビス止めされていません。）
井桁パネルは格子のピッチ[87]毎の切りつめが可能です。
上下胴縁もパネルの切りつめ巾[=87×n]と同寸を切断して下さい。



1枚のフェンスを2枚に切断して使用する場合（1型、3型、5型、8型のみ）

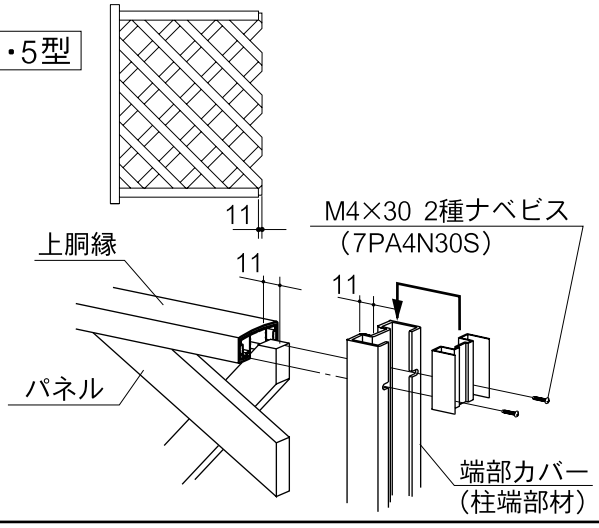
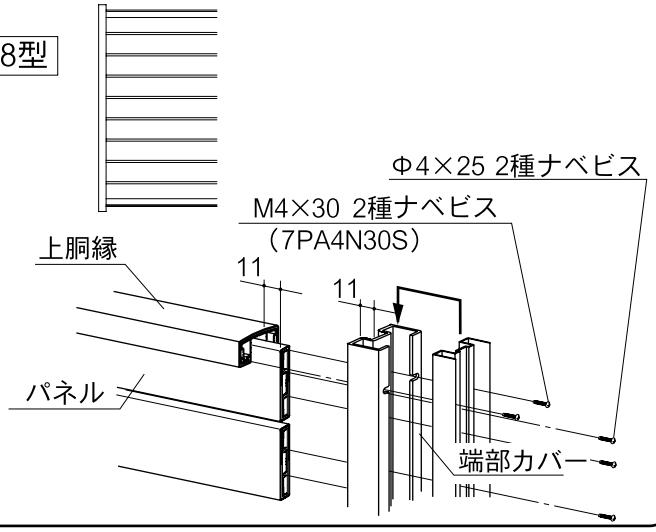


端部カバーを使用する事によってフェンスを2枚に切断して施工することができます。
1・5型の場合は、柱端部材を端部カバーとして使用します。

① 5ページの「1 パネルの分解」を参照してフェンスを分解して下さい。
② 5ページの「2 パネルの切りつめ」を参照して上下胴縁及びパネルを切断して下さい。

注 意　上下胴縁の切断寸法はパネルより11㎜短くなるように切断します。

1・5型



3・8型